

■犬：津野田 百華（つのだ ももか）さん

愛犬：柴犬「銀次郎」

Instagram：@mm.mmk114

さいごは柴犬の銀次郎と二人のお子さんのお母さんでもある津野田百華さんからのお話でした。

「今日は、普段Instagramをやるうえで大切にしていることについて、お話させていただきたいと思います。よくカメラマンですか？ときかれるのですが、ごく普通の会社員をしています。Instagramがきっかけで昨年フォトブックを出版させていただきましたので、その経緯などについてもお話させていただこうと思っています。」

オカメインコの坂井さんやスコティッシュフォールドの小浦場さんとは違うところがいくつかあると津野田さん。

「私は写真の加工は一切しません。子どもがいるので、いかに時間をかけずに簡単に投稿するかをモットーとしています。ですから、加工もしませんし文章もあまり書いていません。撮影に使っているiPhoneも5年前の古いものです(笑)。」

津野田さんのInstagramのフォロワーは現在11万人いるそうです。

「もちろんですが、最初は友だちだけ数十人というところから始まっています。娘が生まれてInstagramを始め、4年間くらいで11万人になりました。これからお話します4つのことだけ気をつけて4年間投稿を続けていたら、大勢の方に見ていただけるようになったのです。」

大切にしていること～①名刺代わりになる写真&タグ付け

「大切にしていることは4つあり、1つ目は『名刺代わりになる写真&タグ付け』、2つ目は『イベントを楽しむ』、3つ目は『「カメラ目線&ニコッ」の必要なし』、そして4つ目は『「見る」写真ではなく「読む」写真』です。」

これらの4つを具体的にどのようにして気をつけているのでしょうか。順を追ってお話がありました。

「私はよく、子ども2人と銀兄ちゃんのお昼寝の写真を投稿しています。娘たちが成長してからこの写真を見たときに、子どものときにはこんな風にお昼寝してたんだなあ、と思い出してもらえるといいなと思ひまして。寝ている姿をただ上から撮っているだけなんですけど、そもそも柴犬がお腹を出して寝るのが珍しいのと、犬と子どもが川の字になって寝ている姿にとっても反響があり、フォロワーが増える大きなきっかけとなった一枚となりました。」



お昼寝写真を撮り続けている津野田さんですが、寝相には無限にパターンがあると言います。

「川の字は定番なのですが、毎回いろんなパターンがあってすごいなあと思いながら撮っています。私が子どもたちを寝かしつけて部屋をでると、あとから銀兄ちゃんがやってきて子どもたちと一緒に寝始めます。私が意図的に向きを変えたりすることは一切ありませんが、実にいろいろなパターンで寝ているので写真を撮っていてとても面白いです。銀兄ちゃんはいよいよお腹を出して寝ているので、本能を忘れていたのではないかなあと思っています。」

銀次郎は4か月くらいのときに津野田家に迎えられ、現在は5歳になりました。

「毎日撮り続けてきて思ったのは、銀兄ちゃんはいよいよ成長したんだということです。娘と息子も赤ちゃんの頃と比べるともちろん成長していて、こんなに大きくなったんだなあとお昼寝写真は過去の写真と比較しやすいので、定期的に撮り続けてきてすごくよかったと思っています。」

そしてこのお昼寝写真が、まさに名刺代わりとなっているそうです。

「このような写真を投稿している柴犬のアカウントがほかにはありませんので、お昼寝写真を見ればアカウント名を見なくても、銀兄ちゃんだと分かってもらえるようにと心がけて撮り続けています。まさに名刺代わりです。そして、もうひとつの名刺代わりとなるのが『モフモフタイム』です。」

津野田家ではお子さんたちが保育園に行く前に、銀次郎に『モフモフ』してから出かけるのが定番となっており、その姿を写しているのが『モフモフタイム』になります。

「朝のものすごく忙しい時間帯に、『モフモフ』の瞬間を狙って撮っています。最初はお風呂上りにモフモフしていたのですが、それをきっかけに2年くらい前からでしょうか、銀兄ちゃんをギュッとしてから保育園に出かけるようになりました。基本的には銀兄ちゃんが真ん中で両脇に子どもたちという構図なのですが、ギュッとするだけでもいろいろなパターンがあって面白いなと思います。」



そして、名刺代わりとなっている写真にはもうひとつ、銀次郎だけの『雨の日』特集があるそうです。

「銀兄ちゃんが雨の日にレインコートを着た姿が『幼稚園児みたいで可愛い』と、フォロワーさんが気に入ってくださっているんです。レインコートは素材的に縮まないと思うのですが、昔の写真と比べるとだんだんフードがかぶれなくなってきているのが分かります。太ったからでしょうね…。雨の日に銀兄ちゃんのレインコート姿の写真をアップすると、『雨の日待ってました!』と楽しみにしてくださっているのが分かるコメントをいただけて嬉しく思っています。」



名刺代わりになる写真にくわえ、津野田さんは途中から、名刺代わりになるタグ付けを始めたそうです。

「『#子守犬銀兄ちゃん』というハッシュタグをつけ始めてから、見てくださる方が増えました。柴犬のアカウントは山ほどあるのですが、犬をあまり知らない人にとってはどの柴犬も同じ顔に見えると思うんです。なので、すこし特徴を出すために、子守をする柴犬のお兄ちゃんというのが一言でわかるようキャッチフレーズ的につけてみました。そうしましたら見てくれる方が増えたので、それからは毎回の投稿につけるようにしています。」

大切にしていること～②イベントを楽しむ

「先ほどのお話のいくらちゃんと同じく、我が家でも行事ごとに子どもたちと銀兄ちゃんがいろいろな格好をしています。フォロワーさんは11万人いるのですが、5万人くらいは海外の方で6万人くらいが日本の方です。海外にはない日本っぽいものをアップすると、海外からのコメントがもれなく多くなります。夏はねじり鉢巻きでお祭り、秋はハロウィーン、冬はクリスマスといった感じで行事を楽しんでいます。冬のクリスマス写真は必ず銀兄ちゃんがトナカイ、子どもたちはサンタの衣装を着て撮っているのですが、クリスマス写真がこれまでアップした1000枚以上の中で一番いいねの数が多かったものです。さらには銀兄ちゃんの誕生日、1月20日には必ず年齢の数字の帽子をかぶって撮り続けています。1歳から5歳まで並べてみると、だいぶポッチャリしてきているのもばれてしまいますが(笑)。」



そのほかにもお正月、節分、ひな祭り、子どもの日など、ありとあらゆるすべての行事に銀次郎も参加して写真を撮り続けているそうです。

大切にしていること～③「カメラ目線&ニコッ」の必要なし

「大切にしていることの3つ目は、カメラ目線をしたり、笑顔である必要はないということです。全然顔が写っていないものも多いですし、尻尾で息子をあやしているところや子どもと銀兄ちゃんが遊んでいる姿など、とにかく構図はいろいろです。私が気に入っている一枚は、銀兄ちゃんが真剣なまなざしで焼き肉が食べられる瞬間がくるのを待っている姿です。」

たとえ顔が写っていても、犬をあまりよく知らない人にとってはどの表情も同じように見えてしまうのではないかと津野田さんは感じていると言います。だからこそ、自然体のまま、ありのまま、目の前にある姿や光景が津野田さんの写真にはおさめられているのです。

「フォロワーさんから写真のリクエストが来ることもあります。たとえばお昼寝写真を投稿すると、『私も銀兄ちゃんと寝たい!』というコメントがたくさんつきます。それならばと、銀兄ちゃんと一緒に昼寝している気分になれるような、銀兄ちゃんの写真を撮って投稿したのですが、それにはすごい反響がありましたね。」



大切にしていること～④「見る」写真ではなく「読む」写真

「大切にしていることのさいごは「見る」写真ではなく「読む」写真ということです。できるだけ時間をかけずにインスタグラムをやるのがモットーなので、文章は書かずに3人のセリフだけを書くようにしています。文章を考えるのが苦手なのもありますし、考え始めるとなかなか抜け出せなくなってしまうので。なので実は、写真を撮るときも、会話が思い浮かぶような構図になるように心がけています。投稿するときにセリフは書いていますが、見てくれる人がそれぞれどんなセリフかなと考えられるような写真を撮るようにしています。」

実際に、こんな風に言っているのでは？というようなコメントがくることもあり、フォロワーさん考案のセリフを後日の投稿で使うこともあるそうです。さらには、自由にセリフを考えてくださいね！という投稿もしているそうです。

「色々な表情があったほうが写真を見てセリフを考える楽しさがありますよね。なので、犬も子どもも顔が見えていなくてもいいですし、笑ってなくてもいいんです。娘が生まれてから、これらの4つのことに気をつけながら毎日写真を撮り続けています。投稿そのものは毎日できていませんが、できるだけ多く投稿するように心がけてきました。」

SNSのおかげで変化したこと

「インスタグラムを始めて3年くらい経ったころ、出版社の方から、写真集を出しませんかと？とフォトブックのお話をいただきました。そうして去年『**子守り柴犬銀兄ちゃん**』を出版する運びになったのです。もうひとつ、まだインスタグラムでもまったく触れていないのですが、チャリティーグッズを販売する予定でいます。これまでも銀兄ちゃんのグッズを作ってほしいというメッセージがたくさん届いていたのですが、銀兄ちゃんはいく

までも一般の犬なので、それはどうかと思っていました。ですが、そんなところにグッズを作る会社から、銀兄ちゃんのグッズを作りませんか？というお誘いがタイミングよくありまして。目下、デザインの準備中です。グッズの売り上げは保護犬の団体に寄付しようと思っています。」

津野田さんのインスタグラムでは保護犬についてまったく触れられていないのですが、ご自身が見るインスタグラムとして保護犬関係のアカウントをフォローしているそうです。

「銀兄ちゃんがいて子どもも二人いますので、ボランティアとして手伝うことができないと悩んでいたこともありました。何かしたいという気持ちがずっとあり、私のインスタグラムのフォロワーの方が多いという特徴を活かして、グッズの売り上げを保護犬団体に寄付することならできるのではないかと思ったのです。」

来月、8月くらいには銀兄ちゃんトートバッグとTシャツが出来上がり、チャリティーグッズの形で販売される予定になっています。

「最後にということになります。もともとインスタグラムを始めたきっかけは、子どもが大きくなったときに銀兄ちゃんとこんな風に毎日過ごしていたんだよ、というのを見せてあげたかったからです。そのために、子どもが生まれてから、育児や仕事で余裕がなくても写真を撮ることだけは毎日続けています。子どもたちにとって犬がいる生活は当たり前のことなのですが、銀兄ちゃんはあと10年くらいたてばいなくなってしまいます。いなくなってしまった後、銀兄ちゃんに会いたいなと思ったときに、せめて写真や動画でいつでも会えるようにしておいてあげたかったというのがインスタグラムを始めた大きな目的です。娘と息子のために毎日撮り続けているものを公開日記のような感じでほかの方々と共有している、というような姿勢でやっているんです。子どもの顔をいつまで出すかについては悩んでいるのですが、できるだけ、銀兄ちゃんと子どもたちの姿を自然な形で写真に撮って、投稿を続けたいと思っています。」

ー撮影にはiPhoneしか使っていないのですか？

津野田さん：安い一眼レフもたまにですが使っています。いつでも撮れるように一眼レフはすぐに手の届くりビングに置いてありますが、やはりiPhoneのほうが機動性があるので、ほとんどの写真はiPhoneになります。

ーたくさんのフォロワーがいますが、フォロワーが爆発的に増えた投稿やきっかけとなる出来事があったりしたのでしょうか？

津野田さん：爆発的に増えたのは、先ほど紹介しましたクリスマスの、銀兄ちゃんがトナカイの恰好をしている写真を投稿したときです。あの写真は去年の12月のものなのですが、2年前のクリスマスもまったく同じ構図で撮っていました。2年前のクリスマスの投稿と去年の投稿の2回とも、1日に1万フォロワー増えるくらいの感じでしたね。クリスマスは世界中で盛り上がっていますから、より目に留まりやすかったのかなと思います。ハッシュタグは特別なものをつけたわけではなく、通常通りの投稿だったのですが、シェアしてくれた方が多かったのが大きかったのかもしれませんが、クリスマスは投稿ほどではありませんが、あとは「ヒルナンデス！」に出たときにもフォロワーの方が増えた感じでした。